



## 古稀を過ぎて

矢作 文弘

今年の四月古稀を迎えました。還暦を迎えた時は一つのけじめと想い、心身ともに大きな変化はありませんでした。そして気力、体力も変わらない気持であったと記憶しています。

ところが七十歳という年齢は何か大きな重さを感じます。何故なのでしょう…。節目という意味で、数字を追うと次は八十歳という年に向かっていきます。健康で一日一日元気である事を願っています。一般的には定年、延長して一つのピリオドを打ちます。そして悠々と生活していくことでしょう。幸いにまだ必要と感じて現役にいられるという事は大変素晴らしい状態の中にある事になります。(必要と感じているのは自分だけかも…。)

本来のあるべき、やるべきことの優先はまずもって社員が安心して仕事に向かって自分の目標に近づいていくことです。それには現実の仕事がいつも流れていかなければなりません。営業、工事、経理の三位一体の日々の積み重ねが必要です。

仕事とは何でしょうか。生きるための手段、家庭を守る為に、社会の為に、余暇の為に、自分の夢を実現する為に…。それぞれの想いがあり、それをやりがいとして発展していく事が望ましいと思います。

歴史的に、建設業は受注生産です。それゆえに生産という意味では事前の準備がしにくい部分がある。計画や予定も、契約にならないとスタートできない点が難しい。そこを読んで先手を打つ事が出来ればと、永遠の課題となります。与えられた仕事をみると仕事の規模の大小があつて、官庁工事、耐震補強工事、リフォーム工事、修理工事等、内容も多岐にわたります。

その中で共通化できる部分やそうでない部分があつて、効率化による、利益を上げることの難しさを日々痛感しています。

一般論ではありますが、マニュアルを基本にお客様のニーズをソフト、ハード共先取りして、落とし所を考えた工事をしていく事につきるに思います。

創業四十二年目に、なりましたが、売上げも利益も継続し続けることの難しさもまた痛感するところです。経理的意味で良い仕事があることはあります。それが続くかというところではなく、ある時期は良くても、その後は厳しい仕事だらけ、ということの繰り返しです。売上げも利益も継続し続けないと、銀行等の対応は、厳しいものとなります。

政治の世界もぎすぎすし、不安定に思われます。我が国をはじめ世界のどの国もいろいろな問題で、固まっているのではないのでしょうか。その原因は何でしょうか。それは祈りです。日々、早朝般若心経を読経し、太陽に向かって祈ると、自分の事よりも他人のことを大切に思うようになります。一人一人が祈り、相手を大切にすることが解決の道となるでしょう。それは奉仕をすることです。

雑多な話となりましたが、最後に、若い社員のみならず全ての従業員、お客様に、本当にこの会社で良かったと思ってもらえるような組織になればと祈っています。

## 仕事人生を振り返って

深谷 泰資



あつという間の42年間でした。葛西建設で働き始めた年は、長女が誕生し、建築士試験に合格したこともあり、忘れられない一年間でした。

それからの私生活においては、いろいろとあったのですが、仕事優先で過ごしており、その都度自分の出来る範囲で対応してきたという形で、あまり記憶に残ることがありません。

反面、仕事上の出来事は、多々思い出す事があります。多くのお施主様との出会いがあり、ご縁が今でも続いていることを本当にありがたいと嬉しく思っています。

私達は、団塊の世代と云われ、社会に出てから高度成長期やバブル景気なども経験し、モーレツ社員などと云われることもありましたが、いざ定年になってしまうと、仕事以外出来ることがほとんど無く退屈してしまいます。幸いなことに、私は今も葛西建設に毎日通勤し、さすがに昔のように長時間働くことは出来なくなりましたが、張り合いをもって仕事をしています。

今当社は、専務をはじめ、仕事盛りの管理職が頼もしく働き、新卒採用の若い社員も多く活気のある会社です。ほとんどの社員が専門資格にチャレンジし、資格取得者も多くなりました。これからの建設業における専門家集団としてお客様のどんな要望にも応えられる会社になることを信じています。私もあと何年働けるかわかりませんが、空気のごとく存在になり、皆に多少でも役立てればと思っています。

模様替、耐震補強や大規模改修といった建物の維持・メンテナンスといった内容が中心となっているようです。

「フロー型社会からストック型社会へ」というスローガンは私が学生のときから授業やマスメディアで盛んに喧伝されておりました。曰くフロー型社会では、大量生産、高度成長、使い捨て、環境破壊、はたまたストック型社会では、適時生産、安定成長、製品寿命の長期化、環境保全（うろ覚えなので多少の間違いはご容赦）そんな事が言われておりました。まさにその様に移ろったようで、自分の周辺環境の変化からも時代の変換を感じます。

さて、昨今ではIoT(物のインターネット)が盛んに喧伝されております。現在では電子レンジや冷蔵庫をインターネットに繋ぐレヴェルのものしか目立ちませんが、省エネがクールビズに昇華したように、IoT社会への変化もレシピ表示付電子レンジをなにか、クールな物に昇華してくれるかもしれません。

いずれにしても時代が変化しようとも、葛西建設がお世話になっているお客様や設計事務所様への技術的、コスト的な提案をやり続けることは変わりません。

変化著しい昨今でありますも、仕事も会社も対応できるようにがんばりたいと思っている今日この頃です。



## 日々雑感

矢作 経弘

KC Newsに最初に記事を書いたのは復刻第1号で、編集後記として書きました。平成16年9月のことです。それから会社へ正式に入り、10余年。いろいろなことがありましたがお蔭様で、無事に仕事をさせていただいております。

主に営業を中心として、活動させていただいておりますが、約10年という短い時間の中でも入社当時とは会社を取り巻く環境も、また会社そのものも大きく変化し続けております。

住宅やアパート、工場・倉庫の新築工事が中心でしたが、それがリフォームや

## 地域案内板広告募集 月額3000円～

江戸川区には、写真のような地域案内板が120基設置されています。駅前や公園でご覧になった方も多いのではないのでしょうか？地域住民の方々が毎日目にするこの地域案内板には、広告を掲出することができます。広告料は月額3000円から。詳細は葛西建設ホームページまたは下記のメールアドレスにお問い合わせください。

[info@kasai-kensetsu.jp](mailto:info@kasai-kensetsu.jp)

地域案内板担当係

